



宮城小通信

郡山市立宮城小学校

学校便り No.14

令和5年5月26日

文責：校長 伊藤孝行

欠席する子どもが少なくなってきました。

先週は欠席する子どもがたくさんいて、学校の中が寂しい感じがしていましたが、今週末に入り欠席者が少し減ってきました。

しかし、郡山市内ではインフルエンザ（主にA型）に感染する小中学生が多く、毎日200人を超える感染・欠席者が報告されています。



インフルエンザや新型コロナのような、ウィルス性の感染症の予防に一番効果があるのは、手指消毒・手洗い、換気です。

インフルエンザワクチンの効果は約5か月と言われています。昨年、接種したワクチンの効果は既に薄れています。子どもたちには、自分の健康管理ができるよう指導をさらに続けてまいります。

来週以降も引き続き、お子さんの体調に心配がある場合は、登校を控え医療機関の受診や検査をされるようお願い致します。

3年生理科「チョウを育てよう」の学習



3年生は、理科で「チョウを育てよう」の学習を現在行っています。

3階廊下に置かれた観察用のキャベツの鉢植えは、遠藤先生が準備してくださったものです。

近づいてよく見ると、葉っぱにたくさんの穴が

空いているが分かります。これは、モンシロチョウの幼虫が葉っぱを食べた跡です。

このキャベツには、幼虫やさなぎがたくさんいて子どもたちは毎日観察を続けています。

もう少しでさなぎからモンシロチョウに羽化するかもしれません。子どもたちは、その時を心待ちにしています。

全国児童生徒俳句大会について

40年前から、大分県の玖珠町にある「全国児童生徒俳句大会実行委員会」が、全国児童生徒俳句大会を行っています。

5月4日、昨年度応募があった11,828句の中から優れた作品を称える表彰式がありました。

今回は、その中から小学生の優秀作品を紹介していきたいと思います。

○久留島武彦賞（最優秀賞）

かたつむり 雨のアンテナ 右左（小2）

○大分県知事賞

父の肩たたく 勤労感謝の日（小4）

○大分県教育長賞

プレゼント ママにもあげて サンタさん（小3）

○特別賞 読売新聞社賞

保育園 カートに五人 いわし雲（小5）

第41回にあたる今年度は、9月1日から11月30日までの期間作品を募集しています。

夏休みの課題として俳句作りに取り組んでみてはいかがでしょうか。詳細については別紙募集要項をご覧ください。

5月28日（日）奉仕作業でお世話になります。

5月28日（日）は、午前6時30分よりPTA奉仕作業が計画されております。

保護者の皆様には日曜日の早朝からの作業になりますが、子どもたちの学習環境整備のためですので、よろしくお願い致します。

天気予報では雨の心配はなさそうですが、気温が高くなるようです。水分補給を十分され熱中症やけがに注意しながら作業を進められるようお願い致します。